

校種・教科等	県立学校 養護教諭	受審番号		氏 名	
--------	--------------	------	--	-----	--

高等学校『保健体育科』 模擬授業課題

(1) 日 時 令和6年 10 月 15 日 第2校時(50 分)			
(2) 場 所 1 年 A 組教室			
(3) 学年・学級 第1学年 A 組(35 名)		使用教科書 現代高等保健体育(大修館書店)	
(4) 単 元 名 精神疾患の予防と回復			
(5) 指導する生徒の状況			
【既習事項】 ・中学校第1学年の保健体育科で、精神機能の発達と自己形成、欲求やストレスの心身への影響と欲求やストレスへの対処について学習している。			
【単元のねらい】 ・精神疾患は、精神機能の基盤となる心理的、生物的、または社会的な機能の障害などが原因となり、認知、情動、行動などの不調により、精神活動が不全になった状態であることを理解できるようにする。 ・うつ病、統合失調症、不安症、摂食障害などを適宜取り上げ、誰もが罹患しうること、若年で発症する疾患が多いこと、適切な対処により回復し生活の質の向上が可能であることなどを理解できるようにする。			
【生徒の状況】 ・男子 16 名、女子 19 名、元気な生徒が多く、グループワークでの学び合いは積極的に発言できる生徒が多い。 ・ゲームやスマートフォンが手放せない生徒、自分の気持ちを表現することが苦手な生徒が数名いる。			
(6) 指導計画(全4時間)			
次(時数)	学習内容	活動・指導形態	評価計画
第1次 (1 時間) (本時) P36～37	「精神疾患の特徴」 ・精神疾患は、精神機能の基盤となる心理的、生物的、または社会的な機能の障害などが原因となり、認知、情動、行動などの不調により、精神活動が不全になった状態であること。 ・精神疾患は、誰もが罹患しうること、若年で発症する疾患が多いこと。 ・現代社会における精神保健の課題は多様化していること。	一斉 個人 グループ	知識・技能 思考力・判断力・ 表現力等
第2次 (1 時間)	「精神疾患の予防」 ・精神疾患の予防と回復には、調和のとれた生活を実践すること、早期に心身の不調に気付くこと、リラクセーションの方法でストレスを緩和することなどが重要であること。 ・心身の不調の早期発見と治療や支援の早期の開始によって回復可能性が高まること。	一斉 個人 グループ	知識・技能 思考力・判断力・ 表現力等
第3次 (2時間)	「精神疾患からの回復」 ・精神疾患について正しく理解し、専門家への相談や早期の治療などを受けやすい社会環境を整えることが重要であること。 ・精神疾患は、偏見や差別の対象ではないこと。 ・精神疾患の予防と回復について、習得した知識を基に、心身の健康を保ち、不調に早く気付くために必要な個人の取組、専門家への相談や早期の治療などを受けやすい社会環境を整えるための対策を整理して他者に伝える。	一斉 個人 グループ	知識・技能 思考力・判断力・ 表現力等

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。